

令和 7 年度 海外留学支援制度
「IJEP 海外派遣プログラム」募集要領
<追加募集>

自然科学教育部では、令和 7 年度「IJEP 海外派遣プログラム」に参加する学生を追加募集します。
希望者は以下の要領に従って申請してください。
ぜひこの機会を積極的に活用し、海外経験に挑戦してください。

1. 目的および内容：

本プログラムでは、自然科学教育部に所属する日本人学生を海外協定校の研究室に 1~12 ヶ月程度派遣し、研究プロジェクトへの参画を通じて、研究力の強化およびグローバルな視点を持つ研究者の育成を目指しています。また、派遣先大学において当該分野の知識や理解を深め、専門および日常会話が充分行える英語力や異文化理解を深めることで、多様な背景を持つ人々とのコミュニケーション能力を養います。

なお、ダブルデGREEプログラム(DDP)による派遣渡航としての応募も認めています。

2. 対象：日本人大学院生

寺田寅彦フェローシッププログラム、IJEP、DDP および Aim-High の学生を優先しますが、その他の学生も積極的に応募ください。

3. 募集人数： 16 名

4. 支援内容：JASSO（独立行政法人日本学生支援機構）奨学金

月額 8 万円~12 万円 奨学金月額は派遣地域（別添参照）に応じる。

* JASSO が実施する第一種奨学金及び第二種奨学金との併給は認められる。

* JASSO 渡航支援金（家計基準/派遣期間）について（別添参照）

* 昨年度より支援額が増額されています。

5. 渡航先：原則として全学あるいは自然科学教育部と学生交流協定を有する海外協定校を優先しますが、研究室間による MOU 締結先も可能です。

※学術交流協定校については、協定書内に学生交流の記述がある場合は派遣できることがあります。
なお、学術交流による派遣では、授業料などが発生することがありますので、事前に派遣先へご確認ください。
協定校については、HP 内の交流協定締結校一覧を参照下さい。

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/kokusaikouryuu/kokusaikouryuudata>

※研究室間の MOU は学生交流の記述があるものが有効となります。不明な場合はお尋ねください。

6. 留学期間：1 ヶ月~12 ヶ月

7. 渡航時期：2025 年 10 月~2026 年 3 月

*外務省「海外安全ホームページ (<https://www.anzen.mofa.go.jp/>) 」に掲載されている危険情報のレベル 2 以上が示されている国・地域には本制度を利用した留学はできませんのでご注意ください。

*渡航予定月の 3 ヶ月前の 20 日までに申請ください。(例：10 月渡航の場合、7 月 20 日まで)

8. 応募資格

- ・ JASSO が定める成績評価係数が前年度分 2.3 以上であること。
- ・ 2023 年 5 月以降に取得した英語スコアが、TOEFL-iBT55 点 (ITP480 点)、TOEIC 550 点、あるいは IELTS 5.5 点以上であることが望ましい。

9. 締切：順次受付、審査を行い、募集人数が定員に達した時点で応募を締め切ります。

10. 提出書類：

- ① 申請書
- ② TOEFL (ITP 含む)、TOEIC L&R (IP 含む)、あるいは IELTS スコアの証明書
スコアは ASO に入力すること。
- ③ 受入予定教員の内諾書 (メール文書可)
- ④ 成績証明書 (前年度の成績が分かるもの)

* 諸事情により英語スコアなどの書類が揃わない場合は教務に相談ください。

* 申請書提出後、英語にて面接を実施致します。

11. 申請提出先：自然科学系事務課 国際担当 (工学部 1 号館東側 1 階)

E-mail : szk-kokusai@jimu.kumamoto-u.ac.jp

12. 帰国後の義務：

- ① インターンシップの単位取得 (未修得の場合。単位取得条件、提出書類等は学生便覧で確認のこと)
- ② GSST が開催する「海外派遣報告会」において英語による報告プレゼンテーションを行う。
- ③ 帰国後、6 ヶ月以内に TOEFL (ITP 可)、TOEIC L&R (IP 可)、IELTS のいずれかを受験し、スコア証明書を提出、および ASO にする。(活動前に取得した英語スコアの提出は認めない)
- ④ 所定の報告書を提出する。

留学先についての相談は岸田までご連絡下さい。

岸 田 光 代
総合科学技術共同教育センター
副センター長
TEL：096-342-3020
MAIL：mkishida@gpo.kumamoto-u.ac.jp